

デジタル新聞の検索・共有機能を活用した授業 実践事例集

GIGA スクール 1 人 1 台環境で子供たちの学びをどう展開するか



■ 1人1台情報端末とNIE

良質な教材コンテンツとしてデジタル新聞に期待

鹿児島大学大学院教育学研究科准教授
山本朋弘



文部科学省の GIGA スクール構想によって、児童生徒1人1台の情報端末が整備され、同時に整備される高速ネットワーク上で有効に活用されることが期待されています。既に、先進地域では、1人1台端末環境で児童生徒が思考・表現のツールとして活用したり、自宅に持ち帰り家庭学習に活用したりする事例が出てきました。これらの情報端末活用を進める上で、重要な役割を果たすのが、「良質なコンテンツ」といえます。学習者用のデジタル教科書やクラウドサービスなどが挙げられますが、近年注目されているデジタル新聞も学校教育での活用が期待されます。

学校での新聞活用では、NIE (News In Education) が進められてきました。NIE を日常的に実践した学校ほど、全国学力・学習状況調査の平均正答率が全国より高い結果が報告されています。新聞を授業に活用することは、児童生徒の学習意欲の喚起や思考力・判断力・表現力等の育成につながります。新聞の教育効果をさらに学校教育に波及するならば、デジタル新聞の意義は大きいといえます。

2020 年度、デジタル新聞の機能を活用した授業実践を実施し、1人1台環境で児童生徒がどのように活用するか、そしてどのような教育効果が見られるのかを検証しました。協力いただいた学校からは、「児童生徒が積極的に活用している姿が見られた」、「とても興味深い機能と感じた」という感想が寄せられました。その活用の様子を好事例から考察してみたいと思います。

「デジタルコンテンツの学校利用に関する実証研究」

鹿児島大学大学院教育学研究科・山本研究室と、南日本新聞社が電子新聞等のデジタルコンテンツを小中学校の授業で活用した際の教育効果を検証した中間まとめです。

■ 授業で活用できるデジタル新聞

主体的・対話的で深い学びにつながるコンテンツ

デジタル新聞「すくーる373る」は、学校の授業で積極的に活用できるように開発された子供向け新聞のデジタル版です。

GIGA スクールの1人1台環境での授業で活用でき、児童生徒の主体的・対話的で深い学びにつながるように設計されています。授業ですぐ活用できるように、パッケージが準備されています。

■ ポイントは検索機能と共有機能

● 「調べる」を使いキーワード検索



必要な情報を検索して
主体的に学ぶ

● 「新聞を読む」で紙面に触れる



新しい情報に触れ
紙面から学ぶ

● 「友達のメモまとめ」 使いクラスで共有

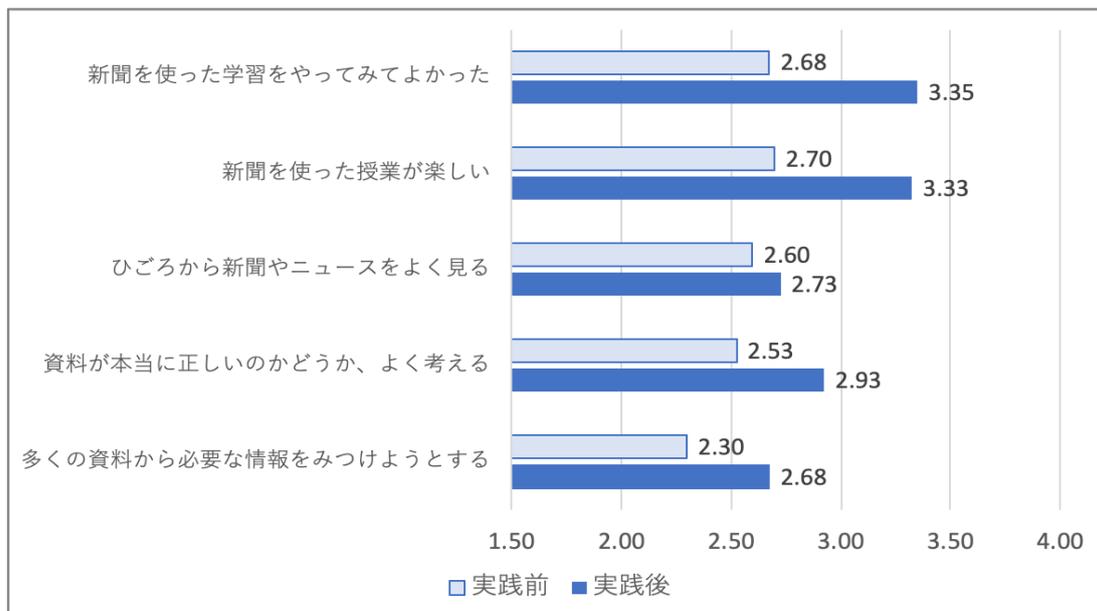
社会 - ともに生きる暮らしと政治	
授業	友達のメモまとめ
最新の状態に更新	出席番号
出席番号	42
11 [11]まとめ	タイトル
6 [6]まとめ	[42]まとめ
42 [42]まとめ	メモまとめ
4	男性の子育て参加を促すため、現状6%にとどまる男性の育児休業 にするなどの目標を設定。
22 [22]まとめ	「若者への伝統継承の場にも」と期待する
24 [24]まとめ	経験や知恵を次世代に引き継ぐことも狙う。
23 [23]まとめ	
25 [25]まとめ	
2 [2]まとめ	
1 [1]まとめ	
7 [7]まとめ	
30 [30]まとめ	



調べてまとめたことを
友だちと共有する

児童向けアンケート調査の結果

実践の前後で、子供向けのアンケート調査を実施しました。4段階で評価させましたが、以下の項目で実践後が有意に高い結果となりました。このことから、デジタル新聞の紙面検索・共有機能に教育効果が見られることが示されました。新聞に親しむことや複数の資料の必要性、資料を基に熟考することに関して、デジタル新聞の機能の活用が有効であることがわかりました。



6年 社会

ともに生きる暮らしと政治 ～わたしたちの暮らしを支える政治～

西之表市立榕城小学校

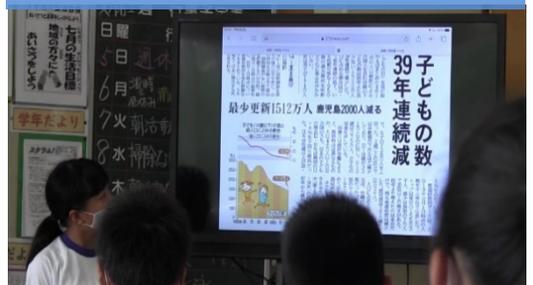
つかむ

見通す

- 1 キックオフ・プレゼンテーションを3分間で行い、少子化や高齢化、人口の減少について取り上げた新聞記事の紹介を行う。
- 2 本時の学習問題を確認する。

なぜ、少子化や高齢化、人口の減少といったことが「問題である」と言われているのだろうか。

児童によるプレゼンテーション



児童が少子化に関する記事の内容を分析し、プレゼンテーションを行う。

調べる

- 3 少子化や高齢化、人口の減少がどのような影響や変化をわたしたちにもたらすのか、調べたことや新聞記事をもとに話し合う。
 - ・ 少子化や人口減少に関する新聞記事を「授業」機能で提示。どんな影響や変化があるのかを読み解く
- 4 話し合いで出てきた意見をもとに、自分なりに解決方法について考える。

新聞を活用した調べ学習



新聞記事を活用して、少子化や高齢化、人口の減少が及ぼす影響について考える。

まとめる

深める

- 5 考えた解決方法についてグループで話し合い、グループなりの解決方法を考える。
 - ・ 記事の情報を元に自分たちに考えられる解決策を話し合う
- 6 話し合った内容を共有し、本時の学習について振り返り、次時への見通しをもつ。

少子化や高齢化、人口の減少が進むと税金が減って、必要な設備やサービスや使えなくなるなどの問題が起こってしまう。そのため、これからも少子化や高齢化、人口減少などの問題については考えていかなければならない。

グループ学習での活用



「メモまとめ」機能を活用しながら、グループで解決方法について話し合いを行う。

すくーる373る活用ポイント

1. 記事を通して、授業のテーマを実際の社会で起きている問題として捉える
2. 関連する記事を読み進めることで、解決のヒントを探る

ポイント1

「授業」機能で先生が参考記事を提示

「少子化」に関連する統計の記事や社説など数本を「授業」のページに提示。実際の社会で起きている事実に基づき、「少子化」による問題点について考えた。



ポイント2

「調べる」機能で記事を検索し、解決策を探る

「少子化」に関する記事を「調べる」機能で児童自身で検索。さらに関連する記事を探し出し、その後の解決策の話し合いのヒントにした。



ポイント3

昼休みに「クイズ」「新聞を読む」機能を楽しむ

昼休みに自由に閲覧できるようにしたことで、「クイズ」に挑戦したり、気になる記事を読んだり、検索ワードを入力して読みたいスポーツ記事にたどりつく姿もあった。



授業者・森永崇行教諭の感想



インターネットを活用した調べ学習の必要性が高まる一方で、小学生には情報の選択が難しい側面があります。今回は、デジタル新聞から得た情報であり、一定の信頼のもとで進めることができました。デジタル新聞の検索を活用することで、膨大な情報のなかから必要な記事をピックアップすることができ、授業の準備も軽減できました。

「少子化」について話し合う中で、記事から「保育士不足」「男性の育児休業取得率」などの問題に気付き、「子育て支援の環境を整えることが解決策」と考えた子どもたちもいました。デジタル新聞を活用することで、問題を焦点化した話し合いにつながったと感じました。

5年
国語

新聞を読もう

西之表市立榕城小学校

つかむ

見通す

- 1 新聞について知っていることを発表する。
- 2 本時の学習問題を確認する。

分かりやすく伝えるために、新聞はどのように書かれているのだろうか。

読んでみたい記事を選択する



数ある新聞記事の中から関心のある記事を選んで閲覧できる。

調べる

深める

- 3 新聞の一面に、どのようなものが見られるかを話合う。
 - ・新聞の題名についての気付き。
 - ・文字の大きさに違いがあることへの気付き。
 - ・ニュース以外の記事への気付き。
- 4 新聞の一面にある内容について確認する。
 - ・内容が少しずつくわしくなっている。
 - ・写真を活用することでよりくわしく伝わる。

デジタル新聞を活用した記事の分析



デジタル新聞を活用して、複数の記事を開覧し、一面のつくりについての分析を行う。

まとめる

生かす

- 5 新聞の構成についてまとめる。
 - ・見出し・リード文・本文という逆三角形の構成になっている。
 - ・写真や図・表などを使い、伝える工夫をしている。
- 6 自分たちが持ってきた日以外の新聞を読み、新聞の構成について確認する。

新聞は分かりやすく内容を伝えるために、見出し・リード文・本文という形で作られていて、さらにくわしく伝えるために写真を加えたりもしている。

新聞のつくりの工夫についてまとめる



気付いたことや分かったことをすぐにノートやワークシートにまとめることができる。

すくーる373る活用ポイント

1. 複数の記事を比較・分析することで、新聞のつくりについて理解を深めることができる。
2. 多くの新聞記事の比較をタブレット端末1つで行うことができるため、学習の利便性と準備時間の大幅短縮することができる。

ポイント1

全員で読む，1人1台で平等な学びの保証

5年生の国語では、新聞を活用した学習が必修となっているが、新聞を購読していない家庭が少なからずあることも事実である。しかし、デジタル新聞を活用することで、どの児童生徒も平等に新聞を閲覧することができ、全員に平等な学びが保証される。今後1人1台のタブレットが至急されることになれば、その必要性はさらに高まることになると考えられる。



ポイント2

「新聞を読む」機能で、複数の新聞記事を閲覧

デジタル新聞ならではの利便性で、瞬時に複数の新聞記事の比較を行うことができる。また、デジタル化されているため、児童が同時に複数の新聞を開いても学習のスペースをとられることがなく、整然とした中で授業を行え、学習の効率化を図ることができる。また、授業にかかる教師の準備も大幅に削減される。

ポイント3

新聞を見ながら、気づきをまとめる

デジタル新聞を活用することで、複数の新聞記事を閲覧したとしても、机上のスペースを使うことがないため、ノートやワークシートにまとめる際にも新聞を片付ける必要がない。そのため、新聞記事を見て、本時の学習を振り返りながら、学習のまとめを行うことができる。



授業者・濱田洋介教諭の感想



パソコン・スマートフォン、それに伴ったインターネットの普及により、家庭の新聞購読率は減っています。私のクラスでアンケートをとっても、4割程度でした。確かにインターネットは非常に便利ですが、紙媒体の新聞には、インターネットにはない良さがあると思います。今回の授業では、異なる日の新聞を比べることで、その構成が共通しているということを知ることを最大の目標としましたが、それと共に新聞に興味をもち、実際に手にとって読み、その良さを知るきっかけにもしたいとも考えました。

インターネットと新聞、両方の長所・短所をよく理解し、上手に活用できるようになってほしいと願っています。

5・6年
道徳

公正・公平な態度で

鹿児島市立東桜島小学校

つかむ

- 1 新型コロナウイルスについて知っていることを発表する。
- 2 学習のめあてを作る。

新型コロナウイルスについて、自分たちが気をつけるべきこととは何だろうか。

考える

交流する

- 3 新聞記事を読み、気づいたこと分かったことをメモする。
 - ① 2月23日紙面「ウイルスを正しく知ろう」
 - ・ウイルスや飛沫感染のこと
 - ② 4月6日紙面「学校での感染予防は？」
 - ・学校で気を付けること
 - ③ 5月19日紙面「ウイルスの次にやってくるものは？」
 - ・風評被害や差別のこと
- 4 友達のメモを読み合い、質問したり対話したりする。

まとめる

振り返る

- 5 新型コロナウイルスについて考えたことを出し合う。
- 6 友達が考えたことを読み合い、自分の考えで変わったところや深まったところを文章化し、全員で共有する。

「メモまとめ」に自分の考えをまとめる



「メモまとめ」機能を活用し、気になった記事の内容を登録したり、自分の考えをメモとして記録しておいたりする。

「友達のメモまとめ」機能の活用



「友達のメモまとめ」機能を活用して、自分がまとめた内容を全体へ広めたり、友達がまとめた内容を閲覧したりする。

友達のメモをもとにした対話



「友達のメモまとめ」機能で読んだ友達のメモをもとにして、友達に質問したり、対話したりする。

すくーる373る活用ポイント

1. 今まさに起きている事象について、記事を通して情報を入手し、新聞が最新のテキストであることを実感してもらう。
2. 「友達のメモ」を閲覧することで多様な意見に触れ、考えを深める

ポイント1

「授業」機能で先生の提示した新聞記事に触れる

「新型コロナウイルス」に関連して、こども新聞「オセモコ」の「一緒に考えよう」シリーズから3本の記事を読む。「ウイルスを知る」「予防策」「風評被害や差別」と、異なるまとめの記事に触れることで、無駄なく情報を自分のものに行うことができる。



ポイント2

「授業」のメモ機能で、分かったこと、気付いたことをまとめる

記事それぞれについて、気付いたことや分かったことをメモにする。1本ずつに記したメモを、「メモをまとめる」機能で1本化。自分の考えを一覧することで、さらに考えを整理することにつながる。



ポイント3

「友達のメモ」を閲覧し、意見交換、新たな気付きへ

まとめたメモは「公開する」を選ぶことで、クラス全員での閲覧が可能。友達の書いた感想を読むことで多様な意見に触れ、新たな発見をやる気につなげることができる。授業の感想では、「友達が『日ごろから人権問題を考えることも大切』と書いていて、自分もそう思った」の声もあった。



授業者・長谷部勇太教諭の感想



「すくーる373る」を使った実践では、お互いの考えをすぐに共有できるよさを感じました。子どもたちは、授業の中で複数の新聞記事から自分なりの考えをメモし、友達の考えと比べながら考えを深めていました。発表や黑板への板書など他者の意見を可視化する方法はたくさんありますが、「すぐに」「みんなの」考えを読むことは難しいことです。即座にお互いの考えを読み合って話し合うことができ、子どもたちの思考に働きかける学習活動が行えたと感じました。「すくーる373る」による友達との意見の交流は、対話しながら自分の考えを確かなものにしたたり、深めたりする学習につながると感じました。

3年
総合

溝辺ではたらく人をたずねよう

霧島市立溝辺小学校

つかむ

見通す

- 1 溝辺で働く人の仕事について、本時で取り上げる内容を確認する。
- 2 本時の学習の学習問題を確認する。

かごしま空港ではたらく人の様子は、新聞のどこを見たら分かるでしょうか。

調べる

深める

- 3 新聞記事をもとに、気付いたことや分かったことを出し合い、全体で調べ方について考える。
- 4 全体で考えたことや調べ方をもとに、新聞記事から気付いたことを読み取って記録する。
 - ① 気付いたことをワークシートに記入する。
 - ② 気付いたことをタブレット型PC上の新聞記事に書き込む。

まとめる

振り返る

- 5 自分が気付いたことを発表する。
- 6 本時の学習をまとめる。

写真やタイトル、本文を見ると様子が分かった。タブレット型PCを使うと、写真の様子が分かりやすい。

デジタル新聞の記事の見方を確認する



デジタル新聞の記事を見る際に、動かしたり拡大・縮小したりすることができることを全体で確認し、各自の調べ学習で行わせる。

デジタル新聞の記事を使って調べる



記事の写真を拡大して閲覧したり、見出しやリード文に書かれていることを読み取ったりしながら調べる。

気付いたことを書き込む



記事にサイドラインを引いたり、写真の注目したところを囲んだりして気付いたことをタブレット型PC上の新聞記事に書き込む。

すくーる373る活用ポイント

1. デジタル新聞を活用することで、児童一人一人が自分で記事を読むことができ、それぞれの興味・関心に従った調べ学習を行うことができる。
2. 「授業」の機能を活用し、デジタル化された新聞記事を教材として使用することで、記事を拡大して調べたり、記事をもとに発表したりすることができる。

ポイント1

一人一人が自分の関心をもった記事を読み、調べる

学級全員の分の新聞を用意することは難しくても、デジタル新聞なら準備できる。一人一人が興味・関心をもった記事をじっくりと読むことができる。さらに、写真や図表を拡大することによって理解を促し、一人一人の実態に合った調べ学習を展開することができる。



ポイント2

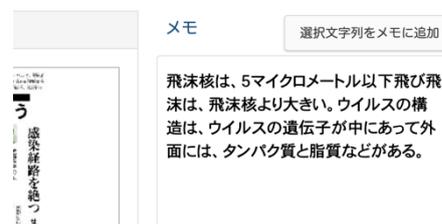
自分なりの気付きを見つける

調べていて分かったことや気になることなどがあったら、ノートに書き出したり、サイドラインを引いたりして分かりやすくまとめる。メモ機能を使うと、大事だと思ったところを保存して、後で考えを整理することができる。

町ろう／鹿児島

メモを保存して閉じる

閉じる



ポイント3

記事をもとに自分の考えを交流し、共有する

自分で書き込んだ記事を使って話し合ったり、発表したりすることで、個人の気付きを学級全体で共有することができる。意見を交流することで、自分では気付かなかった新たな視点で捉えることにつながる。



授業者・玉利真由帆教諭の感想



「すくーる373る」を使ってみてよかったことは、一人一人の気付いたことが目に見えて分かったことです。一人一人が自分の気になるところを見つけられるということがよかったと思います。デジタル新聞の中の写真を拡大して示すことで、自分の「ここが気になる」というところを示すことができたのも、「すくーる373る」のよさだと感じました。調べ学習に関して、新聞という正確な情報をもとに調べることができることがメリットだと思いました。